

プロジェクト名：パキスタン国チャシュマ右岸揚水灌漑計画実施調査 (F/S)

(調査期間：1993年8月～12ヵ月、担当業務：土壌・土地利用)

調査背景

パキスタン国北西辺境州では灌漑農地は全体農耕地の40%程度であり、半乾燥地に属する同州では灌漑の促進が農業生産の改善及び安定化のための最重点課題とされている。同州では1973年、インダス川右岸のチャシュマ右岸灌漑計画として重力灌漑計画と揚水灌漑計画からなる合計約55万haを対象とする事業計画を取りまとめ、このうち重力灌漑地区についてはADBの融資により建設が行われている。揚水灌漑地区に関しては北西辺境州の強い要望にも関わらず、融資が得られずに実施が見送られていた。1991年にインダス川の水利権灌漑協議が解決し、その準備が整ったとして、北西辺境州灌漑局は同州D. I. カーン県の約11万haを灌漑対象面積とする揚水灌漑計画のフィージビリティ調査による技術協力を日本政府に要請した。

調査概要

上記調査は灌漑排水、気象水文、地質、営農土壌、土地利用、施設計画、設計積算、農業経済、流通、組織、環境等13人の専門家で構成された調査団によって実施された。調査内容は各専門分野の調査及び解析の他に、土質、土壌、水質、農村社会等の詳細・分析調査が行われた。フェーズIでは、調査対象地域における各関連分野の資料及び情報収集、現地踏査等に解析結果に基づいて、開発基本計画を策定した。さらにフェーズII調査ではパキスタン側からの要望により、新たに組織・制度専門家を加えて、農業開発計画及び揚水灌漑計画を中心とした事業計画の策定を行った。

担当事項

- 対象地区における土壌及び現況土地利用に関する資料収集及び解析。
- 土地資源に関する開発阻害要因及び開発可能性調査。
- 土地利用に関わる開発基本計画の策定。

